



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV

【売坊流】グレイ・リノ分析（24年1月）

米ドルの賞味期限切れは 時間の問題

この番組では皆様の**投資**や**トレード**に役立ち
そうなイベント、**グレイ・リノ**、異常値分析
について紹介していきます！



OP売坊

©2019-2024 OP売坊



OP売坊の**グレイ・リノ**

サイは普段おとなしいが怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 地政学的リスクの複雑化（ウクライナ・中東・台湾など）
- 🐘 日米欧中の不確実性上昇・債務増・増税懸念
- 🐘 日米欧でスタグフレーション（景気後退+インフレ）懸念
- 🐘 米中の不動産バブル崩壊懸念と景気失速
- 🐘 **米国の議会混乱と大統領選（世界的な選挙イヤー）**
- 🐘 米国の高利回り債（ジャンク債）市場崩壊
- 🐘 **基軸通貨「米ドル」の没落とBRICSの台頭**
- 🐘 日本の2024・25・30・40年問題と預金封鎖
- 🐘 自民党の裏金問題と総裁選（2024年秋）
- 🐘 日銀の金融（YCC）政策変更
- 🐘 日本の増税ラッシュ
- 🐘 **日本の金融システムなどへの不安**
- 🐘 **バフェット指数（株式時価総額÷名目GDP）の異常値**
 米国：174.9（1月10日概算）←175.7（12月28日概算）
 日本：154.4（1月12日概算）←154.3（12月19日概算）



個人的には、日本の金融機関は将来起こり得る危機についての認識が、米欧の金融機関に比べて甘いと感じています。これは米欧の金融機関で長年働いていた経験からきています

日米ともバフェット指数が高値圏となっています。経済規模に比べて株式市場がかなり膨らんでいる状態ですので警戒しています

など

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



2024年は選挙イヤー

日本の主な政治日程

- 02月04日 京都市長選挙
- 03月 24年度予算案
- 07月07日 東京都知事選挙
- 09月 自民党総裁選挙

※556の地方選が予定されている（選挙ドットコム調べ）

世界の主な選挙

03月17日	ロシア	大統領選挙
03月31日	ウクライナ	大統領選挙
04月10日	韓国	総選挙
04~05月	インド	総選挙
06月09日	EU	議会選挙
11月05日	米国	大統領選挙

※英国で2025年01月24日より前に総選挙を実施

注) 上記は予告なく変更の場合があります。

日本の地方選挙をグレイ・リノとして注目しているのは、その結果が中央の選挙にも影響するからです

ゼレンスキー大統領には財産等についての疑惑があるとも報じられています。選挙結果によってはウクライナ情勢が一変するかもしれません

インドの政権が変われば、世界情勢が変わります。選挙はすべて水物です



基軸通貨の存続期間は100年？

基軸通貨となった国



ポルトガル
1450～1530年（80年間）



スペイン
1530～1640年（110年間）



オランダ
1640～1720年（80年間）



フランス
1720～1815年（95年間）



英国
1815～1920年（105年間）



米国
1920年～（104+年間）

次の基軸通貨は？



基軸通貨が、ほぼ同じ100年で変わっていることには非常に興味があります。もちろん、この100年周期が米国に当てはまるかは分かりません



米国がダントツの時代は終わりつつある

経済成長の鈍化

- 2030年代にGDP（国内総生産）が中国に抜かれる見通し
- 2025年の潜在成長率は1.7%に低下

財政・FRBの赤字

- 国債の利払い費が急増中

政治指導者の高齢化

- 1942年生まれのバイデン VS 1946年生まれのトランプ

国民の分断化

- イスラエル擁護で世界から孤立、国内世論は世代間で分断化
- 貧富の差が拡大（2023年には上位10%が66.6%の富を保有）

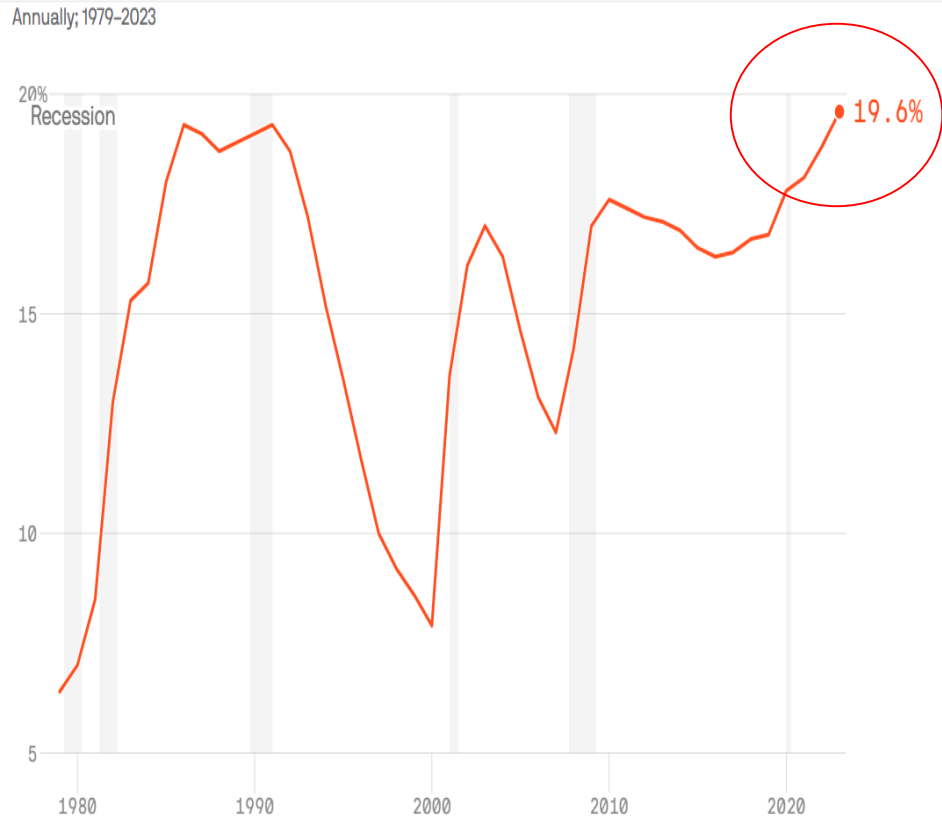
世界経済の分断化

- 排除・制裁などでBRICsが独自の決済網を拡大中
- 世界の外貨準備に占める米ドルの比率が72%（2001年）から59%（2023年）に
- 中央銀行が資金を金（ゴールド）にシフト中



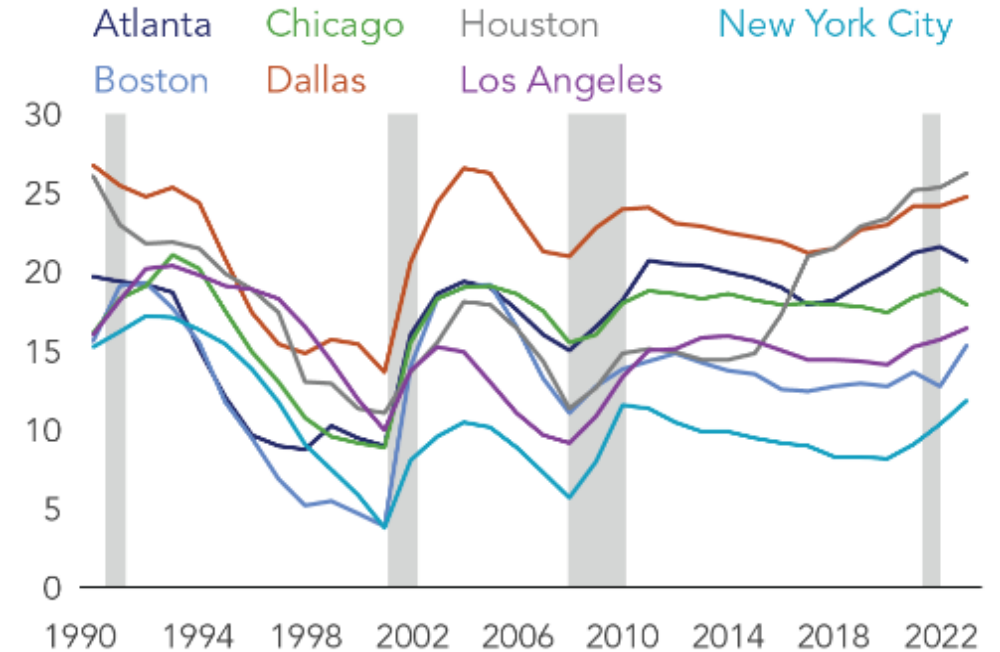
米国のオフィス空室率がさらに上昇（2023年12月）

米国のオフィス空室率



Data: Moody's Analytics; Chart: Axios Visuals

米国主要都市のオフィス空室率（%）



Note: Shaded areas are U.S. recessions.

Sources: Moody's REIS, Office of Financial Research

金融株が上昇しているのは株式市場がまだ熱狂の最中にあるということでしょうか？ FRB（米連邦準備理事会）にはBTFP（バンク・ターム・ファンディング・プログラム）という銀行への融資プログラムがあります。このBTFPによる金融機関への短期資金の供給が金融機関の新たな破綻を防ぎ、株価の下支えとなっています



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>